

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月16日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|------------------------|-------------------|------------|
| 事業所番号 | 3890100112 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人ともの家 | | |
| 事業所名 | ともの家 湯の山 | | |
| 所在地 | 松山市湯の山6丁目4-8 | (電話) 089-914-5515 | |
| 管理者 | 吉田 真紀子 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 JMACS | | |
| 所在地 | 松山市千舟町六丁目1 - 3チフネビル501 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年3月21日 | 評価確定日 | 平成21年4月16日 |

【情報提供票より】 (平成21年2月28日事業所記入)

| | | | |
|----------------------------|--------------------|------------|-----------------------|
| (1)組織概要 | | | |
| 開設年月日 | 平成15年6月27日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 6 人 |
| 職員数 | 8 人 | 常勤 | 5人, 非常勤 4人, 常勤換算 5.7人 |
| (2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く) | | | |
| 家賃(平均月額) | 3万3千~4万5千 円 | その他の経費(月額) | 利用状況により異なる |
| 敷金 | 有(10万 円) 無 | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) 無 | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| または1日当たり 1,100 円 | | | |
| (3)利用者の概要 (平成21年2月28日現在) | | | |
| 利用者人数 | 6 名 | 男性 0 名 | 女性 6 名 |
| 要介護1 | 0 名 | 要介護2 | 1 名 |
| 要介護3 | 1 名 | 要介護4 | 2 名 |
| 要介護5 | 2 名 | 要支援2 | 0 名 |
| 年齢 | 平均 84 歳 | 最低 76 歳 | 最高 90 歳 |
| (4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算 | | | |
| 指定 (あり)・なし | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 | | |
| 指定 あり (なし) | 指定認知症対応型通所介護 | | |
| 届出 あり (なし) | 短期利用共同生活介護 | | |
| 加算 (あり)・なし | 医療連携体制加算 | | |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者一人ひとり、ふるさとを訪ねる機会を作っておられる。事前にどこを訪れたいか聞き取り、旧友と再会されたり、ご実家に行かれたり、お墓参りをされる方もいる。
 事業所主催のバザーでは、利用者がお寿司を売ったり、浴衣を着て夏祭りを楽しむ等されている。調査訪問時、口笛を吹く方や歌がお好きでお気に入りの歌を職員と歌っている様子もうかがえた。
 事業所ではこの一年で、看取りを支援された事例があり、ご家族と話し合いを重ねながら取り組みをすすめられた。最期は、ご家族も駆けつけ、他の利用者も一人ひとりがお別れをされた。事業所主催のシンポジウムで看取りについて勉強された職員は、「不安もあったが知ることで大丈夫と思えるようになった」と話しておられた。

【質向上への取組状況】

| |
|--|
| <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この一年間、地域包括支援センター主催のグループホームの集まりに参加され、他事業所との交流を深められた。 |
| <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の自己評価をもとに、職員個々が自己評価に取り組み、管理者がまとめ職員で話し合われた。管理者は、職員のケアの視点等が年々広がっていると実感されていた。 |
| <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議では、出席者全員が発言できるようにすすめ方も工夫されており、それぞれの立場からのご意見をいただいている。ご家族が市の担当者に質問をされたり、ご家族同士で、毎月行う事業所の掃除の段取り等についても話し合っておられる。又、出席者から質問されることがきっかけとなり、職員で勉強する機会となっている。 |
| <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族が煮物を作ってきてくださり、利用者ご本人がご自宅の味を楽しむ機会があったり、毎月、又、年末に事業所の掃除に来て下さり、ご本人とともに居室等の掃除をされている。又、法人全体で家族会があり、自主運営で「便り」を作成され、ご家族や法人内各事業所に届けられている。 |
| <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団地内のスーパーや美容室を利用されたり、近所の方が時に野菜をおすそ分けして下さることもある。散歩や行事ごと等に地域の方達と顔を合わせることで、挨拶いただくことが年々増えており、利用者の生活の様子を日頃から見守って下さっている。 |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 ともの家 湯の山

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

吉田 真紀子

評価完了日

平成 21 年 2 月 28 日

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) | | |
| | | | 社会福祉とは何か、グループホームとは何か、地域密着サービスとは何かと、常に問題意識を持ち、事業所の理念を作り上げている | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所の理念に基づき、職員で平成20年度の年間目標を「潤いのある生活」と決め、月の目標「利用者一人ひとりが主体となるような場面を作る」取り組みを重ね、理念の実現に向けて取り組まれている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 理念の具体化として、援助のチェックポイントや、ともの家が求める職員像を作成し実践に活かしている。また外部より講師に来ていただき指導を受けている | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 理念を玄関等、共用空間に掲示し、職員で話し合い、目標等を具体的に示し、全職員で取り組んでおられる。 | | |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 年4回の事業所便りを地域に配布し、理念を知って貰うと同時に地域の広報誌にも掲載させていただき普及に努めている | | |
| | | | | | 行事（餅つきなど）の案内を回覧板で回して貰っている |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 散歩の時など出会った方には挨拶している。町内の方からオムツや果物などを持ってきて頂いた。回覧板は、できるだけ入居者と一緒に持っていくようにしている。昼食作りに町内の方に来ていただいている | | |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 文化祭に写真を展示し、多くの方に事業所の様子を知っていただいた。地域の祭りには、神輿がホームの中に入って下さった。清掃は入居者と一緒に行えた (外部評価) 団地内のスーパーや美容室を利用されたり、近所の方が時に野菜をおすそ分けしてくださることもある。散歩や行事ごと等に地域の方達と顔を合わせることで、挨拶いただくことが年々増えており、利用者の生活の様子を日頃から見守って下さっている。 | | 事業所は、地域の力等も借りながら利用者の暮らしを支えていきたいと考えておられる。今後、事業所は移転も検討されており、現在の地域との関係を続けることもあるが、今後も利用者の生活の拡がりや安心のために、地域との関係作りに努めていかれることが期待される。 |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 利用申し込みには親身に対応し、役に立てることがあれば、と相談に応じてアドバイスさせていただいている | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 自己評価や外部評価を、振り返りの時ととらえ改善に努力している。自己満足に陥らぬよう積極的な意義を認めている (外部評価) 前回の自己評価をもとに、職員個々が自己評価に取り組み、管理者がまとめ職員で話し合われた。管理者は、職員のケアの視点等が年々広がっていると実感されていた。この一年間、地域包括支援センター主催のグループホームの集まりに参加され、他事業所との交流を深められた。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|--|
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 運営推進会議と防火訓練を同時に行い、消防署、会のメンバーの方々から有意義なご意見を賜り、課題を共有しサービスの向上に活かしている | | |
| 9 | 6 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (外部評価) | | |
| | | | 会議では、出席者全員が発言できるようにすすめ方も工夫されており、それぞれの立場からのご意見をいただいている。ご家族が市の担当者に質問をされたり、ご家族同士で、毎月行う事業所の掃除の段取り等についても話し合っておられる。又、出席者から質問されることがきっかけとなり、職員で勉強する機会となっている。 | | |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 昨年当法人開催の「看取りのシンポジウム」に市の職員の方が参加してくださったり、また気軽に立ち寄っていただき入居者との交流も計っている | | |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている | (外部評価) | | |
| | | | 運営推進会議に出席いただき、他の事業所の取り組みやボランティアの募集方法、地域との交流等についてアドバイスをいただいた。 | | |
| | | | (自己評価) | | |
| | | | 現在対象者はいないが、職員は制度を知っている | | |
| | | | (自己評価) | | |
| | | | 身体的な暴行はもちろんのこと、言葉や態度でも入居者の自尊心を傷つけることのないよう十分に配慮した言葉かけを行っている | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 利用相談があった時は、施設見学や体験入所などを勧め時間をかけて慎重に対応している | | |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 苦情申し立て窓口を設け、利用者や家族が不満を申し立てる場を作っている。家族懇談会を定期的に行っている | | |
| 14 | 7 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 毎月ご家族へ日々の様子を、手紙で知らせている。来訪されたご家族には、ケース記録に目を通していただいている | | |
| | | | (外部評価) ご家族の来訪時には、日々のケア記録を見ていただき、説明しながら日々の様子を伝えておられる。 | | |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 自主運営の家族会が結成されており家族同士による話し合いの場が定期的にもたれている。そこで出された意見は運営に反映させている | | |
| | | | (外部評価) ご家族が煮物を作って来てくださり、利用者ご本人がご自宅の味を楽しむ機会があったり、毎月、又、年末に事業所の掃除に来て下さり、ご本人とともに居室等の掃除をされている。又、法人全体で家族会があり、自主運営で「便り」を作成され、ご家族や法人内各事業所に届けられている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) 管理者は、毎月開いている職員会議等で、職員から出た意見、提案を積極的にとりあげ運営に反映させている | | |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 利用者の状況、状態の変化に応じ、必要な時間帯に職員の配置、勤務の調整に努めている | | |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 原則として初めの2年間は異動は行わない。など最小限に抑える努力をしている | | |
| | | | (外部評価) 法人内の事業所のすべての利用者を知ることができるよう、異動することもあるが、日々の中でも事業所同士で交流し、顔馴染みとなれるよう努めておられる。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 新人研修の実施、月に1度の職員研修の実施、外部研修を奨励、援助し個人の資格取得も応援している | | |
| | | | (外部評価) 職員は、日頃の不安なことや質問等を書きとめておき、職員会議で話し合うようにされている。会議は、全職員で意見を出し合い、すべての職員で決めて取り組みをすすめておられる。又、職員は、市社協主催の料理教室に参加され、事業所でも作ってみられた。 | | 今後事業所では、1ヶ月毎に主任を交代することを試みてみることを検討されていた。職員が順番で責任を持つことで、意識ややりがいを高められたらと考えておられる。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) | | |
| | | | 市内の同業者と協力して、シンポジウムを開催、案内した。地域包括支援センターの支援を得て地区のグループホーム意見交流会を2回実施し参加した | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 地域ケア会議や地区のグループホームが集まる会が、年に2回開催され、他事業所と事例や取り組みの紹介をされ、意見交換がなされている。又、地区内の他事業所の夏祭りに利用者と参加されたり、事業所主催のバザーには他事業所からの参加もあった。 | | |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 職員間のコミュニケーションを大事にし日々何でも話し合える雰囲気作りに努めている。年に何度か全体職員会議を開き、職員の思いや意見を聞いている。互助会にも助成している | | |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 個人の資格取得の為の勉強を応援した勤務形態を考えている | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) | | |
| | | | 職員は常に相談に耳を傾け傾聴的態度で利用者に接している。受容と共感を接遇態度の第一意義として掲げている | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 利用前にご家族と全職員とのカンファレンスを開き、家族の思いを直接聞くようにしている | | |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) まず必要としている支援を見極め対応している | | |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) 入居前には必ずご本人との面接、ご家族を交えての話合いの場を設けている。入居後しばらくは、環境の変化や他の入居者との関係構築などご家族の協力をお願いしている (外部評価) 利用前には事業所を見学いただき、雰囲気を味わっていただくようにされている。今後、事業所は、移転することを検討されており、移転先に出向き、環境等にも馴れていただけるよう取り組まれている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 職員は日常の生活が学習の場となっている。言葉、表情、行動など触れ合いの中から、学び支えられていることを実感している (外部評価) 職員は、利用者からむづかしい漢字の読み方を教えていただいたり、好きな歌と一緒に歌うこともある。又、職員は、利用者の支援は利用者の協力なしにはできないと捉え、「ありがとう」と言葉で伝えるようにされている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 28 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 家族をケアパートナーとして位置づけ、ケアプランを実施するにあたり、共に取組み協力していただいている。毎月25日を掃除日とし、ご家族にも参加して頂いている | | |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) 出来るだけ家族の来訪、家族とともに外出する機会を作り支援している。(故郷訪問にも同行)行事にも参加を呼びかけている。お正月には、ご家族と過ごされた方が、ほとんどである | | |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている | (自己評価) 親しい人に年賀状を書いていただき様子を知らせている友人、知人の訪問も歓迎している。ご家族と一緒に故郷訪問を実施している | | |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) 一緒に時間を共有できる場、支えあいの場を作るように職員は常に気配りしている | | |
| 32 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 死亡退居されたご家族へも、行事の案内などをし、交流をはかっている | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) | | |
| | | | フェイスシートを作る際、本人又はご家族にお話を聞き、その思いや願いを把握するよう努めている。集めた情報は職員間で共有できるようにファイルしケアプラン立案時などに活かせるようにしている | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | センター方式の書式を用いて、利用者の好き嫌いやこれまでのこと等、情報を詳細に集め、介護計画の支援内容に具体的に反映されている。又、職員は、利用者との普段のかかわりの中から声かけ等のキーワードを探り、職員で共有し、支援されている。 | | |
| 34 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) | | |
| | | | ご家族から暮らしや生活環境をお聞きしている。新しく得た情報は書き加え、より詳しいフェイスシートの作成に努めている | | |
| 35 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 日々の暮らしの現状を観察し、記録に残し把握するようにしている | | |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 職員だけで無理なことは、ご家族の援助を仰いだりデイサービスを利用したりしながら介護計画を進めている。各人が積極的にアイデアを出し、よりよいサービスの提供を心がけている | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | ご家族の来訪時に、日々の様子を伝え介護計画について話し合われており、事業所では、「その人にとって何が必要か」という視点を大切に計画を立てておられる。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------|------|--|--|---|---|
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | | 期間に応じて見直しを行っている。見直し以前に変化が生じた場合には、現状に即したケアプランを作成するようにしている | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 介護計画は、6ヶ月毎の見直しと3ヶ月毎の評価を行い、ゆっくりと支援することでケアの質を高められるようすすめておられる。 | | さらに、ケアのさらなる質向上に向けて、平成21年度は、「介護計画に基づいたケアを実践する」ことを重点目標にされている。 |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) | | |
| | | | | 関わった職員が個人記録に記入し、情報を共有し実践等に活かしている | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | | 当法人の三事業所を行き来し交流をはかったり、昨年11月に開設した当法人の小規模多機能施設のクラブ活動に参加して頂いたり柔軟な対応を心がけている | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | ご家族の送迎で、法人内の小規模多機能型居宅介護事業所で行われているフラワーアレンジや習字、お菓子作り等のクラブ活動に参加される方もいる。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 40 | | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) 必要に応じて警察、消防、ボランティア、民生委員の協力を得ている。地区の文化祭には写真を展示し地域の方との交流が持てた | | |
| 41 | | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) 今のところ他のサービスを利用している入居者はいない | | |
| 42 | | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) 本人の意向や必要性に応じて、ご家族とも相談してみるが、今のところ必要性はない | | |
| 43 | 18 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 毎月かかりつけの医師の往診があり、必要に応じて、血液検査や健康相談をしていただいている (外部評価) かかりつけ医が往診に来てくれるようになっており、気軽に相談できるようになっている。 | | |
| 44 | | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 各人の必要に応じて、協力医療機関の精神科医を受診し相談や治療を受けている | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|--|
| 45 | | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) 専属の看護師が毎週来訪し、日常の健康管理を支援している。緊急時には24時間相談ができる体制をとっている | | |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 連携している | | |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) ご家族の希望をお聞きし、管理者、看護職らが中心となり話し合いを持ち、職員全員で方針を共有するようにしている。昨年10月看取りのシンポジウムを開催し、より意識が強くなった (外部評価) 事業所ではこの一年で、看取りを支援された事例があり、ご家族と話し合いを重ねながら取り組みをすすめられた。最期は、ご家族も駆けつけ、他の利用者も一人ひとりがお別れをされた。事業所主催のシンポジウムで看取りについて勉強された職員は、「不安もあつたが知ることで大丈夫と思えるようになった」と話しておられた。 | | |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) ご家族、医師と共に協議し連携をとり支援に取り組み、また今後の変化に備えている | | |
| 49 | | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 情報交換を密に行い出来るだけダメージがないように努めている。(馴染みの家具や品物などを持ち込み配置) | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|---|--|---------------------------|--|
| <p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> | | | | | |
| <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> | | | | | |
| <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | | | |
| 50 | 20 | <p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>(自己評価) 職員は法人の接遇態度、援助のチェックポイントに基づき一人一人の思いを大切に、サービスの提供を行っている。個人情報については、家族以外公開はしていない</p> | | |
| | | | <p>(外部評価)</p> | | |
| <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | | | <p>(自己評価) 自己決定の場面を作り、本人の意向、希望を尊重している</p> | | |
| 52 | 21 | <p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>(自己評価) 生活全般において、一人一人のペースを尊重し、入居者が自由に自分らしく生活できるように支援している</p> | | <p>(外部評価) 利用者の身体状況等に合わせて、個々が穏やかに過ごせるよう考えられている。利用者の動きを止めないことに努めておられる。朝は活動的に、午後からは入浴やお昼寝等、のんびりと過ごせるよう、生活のリズムに沿って支援されている。</p> |
| | | | <p>(外部評価)</p> | | <p>職員の人員のこともあり、どうしても「ちょっと待つて」と言ってしまうようなこともある。事業所では、「ご自分らしい自由な暮らしを支援」することを目指しておられ、今後も職員のチームワークや支援の工夫を重ねていかれてほしい。</p> |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 個性を大切にし、ご本人、ご家族から好みの色や洋服をお聞きし選んでいただいたり、外出の時は、さりげない化粧やおしゃれを楽しんでいただいている | | |
| 54 | 22 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 一緒に台所に立ち、準備、片付けなど、できる方には手伝っていただき、食事時は、静かな音楽を流したりお話をしたりして楽しんでいる (外部評価) 職員と一緒に食器洗いをされたり、盛り付けをしてくださる利用者もいる。利用者が「やってみよう」と思えるよう、場面作りにも努めておられる。しっかりと味を付け、おいしくいただけるようにされている。 | | |
| 55 | | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) 個々に合わせ嗜好にあった食事やおやつを提供している | | |
| 56 | | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) 全職員が排泄パターンを把握しており、兆候をよく観察し、一人一人に添った誘導を行い、ADLに従いプライバシーを守り気持ちよく排泄できるように支援している | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 入居者の希望やペースに合わせて楽しめるようにしている | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 介護度重度の方は、体に負担がかからないよう週に2回の入浴で体を拭く等、支援されている。又、夏はシャワー等で気持ちよく過ごせるよう支援されている。 | | |
| 58 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 日中、日光浴や散歩、軽い運動を行い、夜間安眠できるよう支援し、また個々に合わせた休息も行われている | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | これまでの趣味や特技を生かし、一人一人に合わせた支援をしている | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所主催のバザーでは、利用者がお寿司を売ったり、浴衣を着て夏祭りを楽しむ等されている。調査訪問時、口笛を吹く方や歌がお好きでお気に入りの歌を職員と歌っている様子もうかがえた。 | | |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 管理不能な方が多いが、可能な方には買い物時ご本人に支払いをしていただいている | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|--|
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 毎日自由に外出し、ご家族と一緒に出かけられている | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 利用者一人ひとり、ふるさとを訪ねる機会を作っておられる。事前にどこを訪れたいか聞き取り、旧友と再会されたり、ご実家に行かれたり、お墓参りをされる方もいる。 | | |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) | | |
| | | | 花見、遠足、ドライブ、旅行、外食等を行い皆で外出する機会を作っている | | |
| 63 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | いつでも利用できるように支援している。年賀状なども書いている | | |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) | | |
| | | | いつでも訪問できるようにしている。知人、友人の訪問も大歓迎し茶菓子で御もてなししている | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|---|---------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) 入居者の自由を尊重し身体拘束をしない安全なケアを実践している | | |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) 日中は鍵をかけず、外出される方を見守っている。 (外部評価) 玄関や居間の吐き出し窓から外に出られるようになっており、調査訪問時には、庭のベンチで日向ぼっこをされている方もうかがえた。2階の居室の方は扉に鈴を付け、開閉時には音が聞こえるようにされていた。 | | |
| 67 | | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 所在確認を心がけ、職員間の声かけでさりげなく見守りの徹底をしている | | |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) 薬品類は手の届かないところ（見えないところ）に置きその他は見守りを徹底し、さりげなく危険を回避している | | |
| 69 | | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) 一人一人の身体状況、健康状態を職員が把握しており情報を共有することで事故防止に努めている。が起きてしまった事故については、事故報告書を提出し、再発防止に取り組んでいる | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|--|---|---------------------------|---|
| 70 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 講師を招いて研修を行い、看護師による応急手当の研修も受けている | | |
| 71 | 27 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 防災訓練を地域の方に見ていただき、協力を仰いでいる。昼、夜の設定で訓練を実施した (外部評価) 近所の方に「大声で助けを求めてくれれば駆けつけます」と言ってもらっている。 | | 現状では、2階の居室からの避難について不安を感じる職員もある。移転に際しても、新しい環境になることから、防災への取組みをさらにすすめ、利用者ご家族、職員の安全、安心に取り組まれてほしい。 |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている | (自己評価) 一人一人に起こり得るリスクについて、ご家族と十分話し合い、入居者の自由を尊重している | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 異変が見られたときは、すぐに連絡、対応を相談する体制が出来ている | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 74 | | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 看護師による薬の分配、用法などの説明を受け、職員はそのつど把握している | | |
| 75 | | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 牛乳、ヨーグルト、食物繊維の多い食品などを積極的に取り入れ、水分の摂り方も一人一人に合わせ、家事、体操、散歩など軽い運動で自然排便に努めている | | |
| 76 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) 毎食後の歯磨き、うがい、義歯の洗浄を行っている | | |
| 77 | 28 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 健康チェック表で、摂取量を確認している。またその都度水分や捕食の提供を行っている (外部評価) 利用者の状態に合わせて、ご飯をやわらかめにされており、食材をミキサーに掛けたり、きざむ等されている。食事がすまない方には捕食として、果物やおはぎ等、好きなものを用意されることもある。 | | |
| 78 | | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | (自己評価) 手洗い、うがいの励行。個々のタオルを使い分ける。研修会で感染症に対する学習を行い実行している | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|--|---------------------------|--|
| 79 | | <p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>食中毒防止の為に食材は旬の新鮮な物を提供し、台所周りは常に清潔を保ち、布巾やまな板などは定期的に除菌消毒している</p> | | |
| <p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p> | | | | | |
| 80 | | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>誰もが気軽に入れるよう門を開けている。玄関、周囲の清掃に努めている</p> | | |
| 81 | 29 | <p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>明るさ、清潔に気を配り室内の飾りも季節に応じ工夫している。花を活け、心地よい音楽を常に用意している</p> <p>(外部評価)</p> <p>庭には水仙や雪柳等の季節の花が咲き、ベンチで日向ぼっこをされている利用者もうかがえた。民家改修型の事業所で利用者の年代に懐かしい人形や書籍等もあった。居間には、手作りの大きな日めくりカレンダーがあり、行事の写真や習字等の作品も飾られていた。</p> | | |
| 82 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>リビングに炬燵を置き、集えるようにしている。椅子や家具の配置も工夫している</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) | | |
| | | | ご本人が使っていた家具や持ち物を持ち込み、本人らしい居室作りを心がけている。殺風景にならないように花、カレンダー、時計などを置きたり写真を貼ったり工夫している | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 転倒した場合でも衝撃が少ないよう敷物をされたり、ご家族の写真も飾られている。2階へは昇降機が設置されており、居室からは松山の町の風景が眺められる。 | | |
| 84 | | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) | | |
| | | | 換気はこまめに行い快適に過ごせるように支援している | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 階段、トイレ、浴室には手すりをつけ安全性に配慮している | | |
| 86 | | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 民家型の家なので、普通の家と同じようにしている | | |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 庭にベンチをおいて外気浴を楽しめるようにしている | | |

| . サービスの成果に関する項目 | | |
|-----------------|--|-------------------------------------|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | アセスメントは、センター方式のシートを使いケアプラン作成に活かしている |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | 声、音に注意し穏やかにゆったりと暮らしている |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 一人一人がペースを保ち、各個人にあった暮らしをしている |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 寄り添った関わりで表情が豊かになり、会話や笑顔が生まれている |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 時間や天候に配慮し、出来るだけ戸外で過ごすようにしている |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 定期受診と服薬管理、看護師による医療相談などで不安なく過ごされている |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 本人のペースや意向を尊重し穏やかに暮らしている |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | 訪問や電話などで、何でも相談していただき信頼関係が出来ている |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない | 地域の方は用事のある時だけだが、家族の方々の訪問がある |

| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 | |
|-----|---|--|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない | 民生委員さんの紹介で文化祭や祭りに参加でき、町内の方から、果物やオムツの差し入れがあった |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 笑顔で楽しく仕事している |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | ゆったりと自由に暮らされているようで、表情が明るく、会話が弾み発語も多くなっている |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ①ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない | 行事などに積極的に参加して下さり、ホーム内のちょっとした修理なども自らして下さり、職員にも気軽に声かけがあり協力して下さっている。毎月25日の掃除の日には、必ず参加して下さる |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

ともの家湯の山が開設して6年目です。要介護2～5までの認定を受けた方6名、全員女性ばかりで暮らしています。それぞれ人生経験豊富な方たちの集まりで、時にはぶつかり合うこともありますが、仲間意識が強く、日々愉快的な毎日を送っています。これからもご本人の意向やご家族の思いを大切に、日々の暮らしの中で、その人らしい生活が送れるよう、ご家族と共に歩み続けたいと思っております